

イトヨーカドーのCSRアクション

岩手県フェアの取り組み

東日本大震災から11年
さらなる復興に向けて



塚田 友哉

大宮宮原店
外商担当

イトヨーカドー大宮宮原店では、2022年3月8日～13日の6日間、東日本大震災から11年目を迎えた岩手県のさらなる復興に向けて、岩手県産商品の販売やプレゼント企画など、岩手の魅力を伝える「岩手県フェア」を開催いたしました。

食品売場では、岩手ブランド「小岩井農場」のチーズやヨーグルトのほか、三陸産ワカメや岩手県産奥州ハーブ鶏、「顔が見える食品。」の遠野牛などを、フェア商品として集約販売しました。また、税込3000円以上お買い上げのレシートご提示で、岩手県産米「銀河のしずく（1kg）」プレゼント企画を3月8日限定で実施しました。15時の時点で予定数300個の配布が終了し、お客様からも大変好評をいただきました。

そのほか、盛岡石割桜をイメージした桜の木イラストパネルに、大宮宮原店にご来店いただいたお客様から岩手県の皆さまへ向けたメッセージを貼り付ける、お客様参加型企画を実施しました。

たくさんのメッセージをいただき、満開になったパネルは、フェア終了後岩手県庁に持ち帰り、現在も展示を行っています。

東日本大震災から11年。被災地の復興は着実に進んでいる一方で、震災の風化が懸念されています。イトヨーカドーは、これからも岩手県をはじめ東北地方の魅力を発信していきます。

